

平成30年度 石川県院内感染対策支援ネットワーク

院内感染対策実地支援 ～岡部病院 現場ラウンド評価～

実施日：平成30年11月20日（火）13：00～16：00

コメント枠の仕様説明

赤枠：

改善などのご検討が必要なところを記載しています

吹き出し

追加コメントを記載しています

患者さんの私物が段ボール収納され随所に置かれていました。
段ボールは湿気をよんでカビやその他微生物の温床となります。
保管方法や保管場所のご検討はいかがでしょうか。



処置ワゴンの老朽化が顕著で、ガムテープやビニールテープで補強されていましたが、補強部分が剥がれていたり黒ずみがありました。テープの剥がれた粘着部分は、汚れが付着しやすく使用前後の清拭も不十分となり、カビやその他微生物の温床となってしまいます。天板修繕のご検討はいかがでしょうか。



医療安全上において、患者さんや職員の怪我の要因となる可能性があります。

手拭きペーパーがそのまま置かれていました。手洗い後の水滴がペーパーに浸透していき、水気で汚染されてしまいます。ペーパーホルダー設置など、保管方法のご検討はいかがでしょうか。



洗浄シンクの水はね汚染が顕著でした。水回りは、カビをはじめ
その他、院内感染の原因となる微生物の温床となってしまいます。
定期的な清掃や乾燥時間を設けるなど、業務改善のご検討はいかが
でしょうか。

目分量で作成されたという
次亜塩素酸ナトリウムに浸漬
消毒中の包帯がありました。
次亜塩素酸ナトリウムは蓋を
しないと揮発されて濃度が変
化することや、周囲への曝露
問題が生じます。作成濃度も
目分量では有効性が保証でき
ませんので、適正管理が必要
です。



洗浄・消毒されたコップは、濡れたまま蓋がされ乾燥環境がありませんでした。濡れたままのコップはカビやその微生物の温床となります。患者さんが直接口にするものですので、乾燥できる環境作りが望まれます。



**トロミ粉が保管されている容器の汚れがありました。
日常的な衛生管理や、補充する際の容器洗浄・消毒・乾燥など
衛生管理が望まれます。**



医療用テープと事務用テープなどが混在していました。
また、このテープ保管場所はホワイトボードの直下であり、ケース内にふき取りカスが溜まっていた。衛生管理が望まれます。



写真では分かりづらいですが、黒いカスが混入されていました。

ホワイトボード前の同様ワゴン上に、衛生器材や材料も置かれていました。同じく、環境汚染を受けやすい状況にありますので引き出しまたは蓋付き容器になどの保管が望まれます。また、セッシなど先端のある器材は立て保管すると、先端が破れやすい状況となりますので、横保管が望まれます。



多患者との共有物の軟膏類は、ベッドサイドに持ち込むものが殆どでした。患者専用にするか、スタッフステーションから必要な分をとってベッドサイドに向かうなどといった清潔を保持できる工夫をされてください。



**ミキシングエリア上部に、多様な物が置かれていました。
埃がたまりやすいことや、上部の物を取り出したとき
埃などの落下があり、衛生環境が保たれない状況があります。
ミキシング上部には物は置かない、または扉付き収納が望まれます。**



ピューラックスは、無くなったら移し替えを行い、容器は使い回しているとのことでした。継ぎ足しは衛生的ではないことや、移し替え時に、高濃度の次亜塩素酸に曝露する危険性がありますので、移し替えをしなくて良いように、使用頻度に応じた用量のピューラックス配置が望まれます。



色々サイズがあります。
有効期限以内に使用できるかも
判断が必要です。

汚物室内のごみ収納カートが布製でしっとりしていました。
拭けない・洗えない素材であり、臭いの吸着、カビやその他微生物の
温床となりますので、カートの見直しのご検討はいかがでしょうか。



汚染リネンカートに、ダンボールを再利用した手作り蓋が使用されていました。しかし、ダンボールは湿気をよびこんだり、汚れても拭けない状況があります。拭ける素材での作成が望まれます。



お尻ふき用の濡れティッシュが、未使用のものと、開封済み（ベッドサイドで一度利用されたもの）が混在し保温保管されていました。開封使用されたものが、再度保温されることで、微生物の増殖が顕著な状態となります。1回に使用できる量の材料や、必要な分だけ取り出すなど、使用後に戻さない工夫のご検討はいかがでしょうか。



洗濯場に保管のリネン袋の分別などにダンボールが使用されていました。特に湿気の多い洗濯場であり、紙製品は湿気を来し易くカビやその他微生物の温床となりますので、仕切りの改善をご検討下さい。ネットに埃もありましたので、定期的な清掃が望まれます。



写真では分かりづらいのですが、**駆血帯の白い部分が血液で汚染**されておりました。使用後は、**かならずアルコール等で拭き取り清拭**を行い収納することが望めます。



**針捨てボックスや検体輸送容器が床に直置きされていました。
不潔な床に置いた物を触ることで、職員の手が汚染されるリスクが
高まりますので、直置きしない工夫が望まれます。**



可燃ごみの蓋が、ごみで半開きになっていました。
蓋を触ることで職員の手が汚染されることとなります。
足踏みの物とするか、もしくは蓋そのものを取り外すなど
手が汚染されない工夫のご検討はいかがでしょうか。



ポットのすぐ横に滅菌器材や衛生材料がオープンに置かれていました。水滴や環境汚染を受けやすく、滅菌や衛生環境が保持できない状況がありますので、引き出しや蓋付きケースへの収納などが望まれますのでご検討下さい。

ポット



使用済みの手袋が書類の上にそのまま置いてありました。汚染を広げる可能性が高く、衛生的ではありません。廃棄用のボックスか袋に入れることをご検討ください。



配薬ケースが一部木製でした。木製製品は、清掃・消毒しにくく劣化しやすいです。汚染もありましたので、清掃・消毒が容易にでき、衛生的に管理できるものをお勧めします。

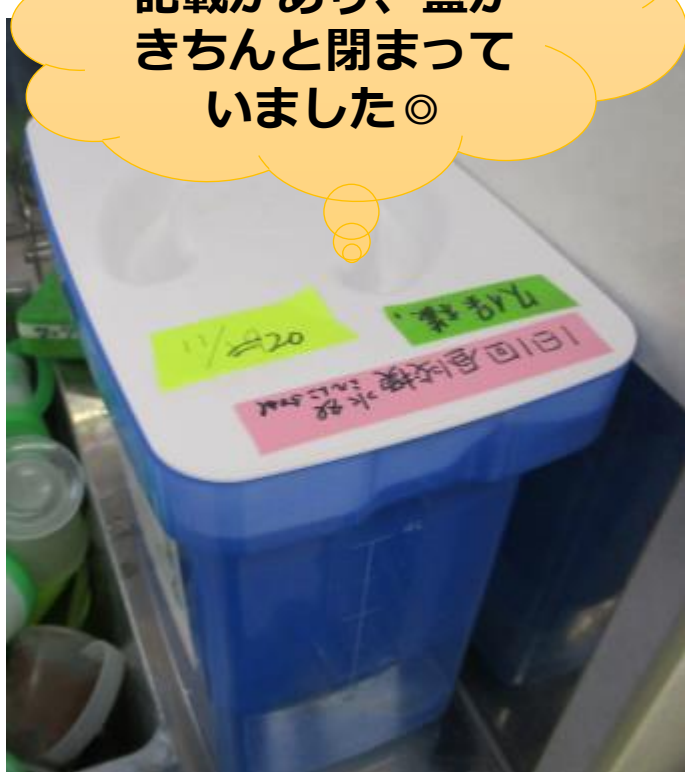


シンクに直接水をためて食器を消毒していました。排水管やシンク周囲の汚染・細菌繁殖により衛生的ではありません。専用の容器を使用することをお勧めします。



消毒している物品が浮いていました。浮いていると消毒されない部分がありますので十分な消毒効果が得られません。落とし蓋や洗濯ネットに入れると十分に浸漬できますのでご検討ください。

消毒液作成方法の記載があり、蓋がきちんと閉まっていた◎



**歯ブラシの保管では、隣のブラシ同士接触しているものがありました。
他患者同士の汚染が交差しますので、1本ずつ離すなど接触しない
工夫をされてください。**



手袋したままオムツ交換車の上で記録しているスタッフがいました。清潔なものであっても文房具を介して汚染しますので交換が必要です。ケア後の汚染された手袋であるならば、汚染を拡げています。ケアが終了したら速やかに手袋を外し、装着するのはケア直前を習慣にしてください。



病棟内の手洗いシンクが水滴なく、清掃も行き届いていました。



陰部洗浄ボトルの保管がシンクすぐ傍で棚の下段でした。水跳ねや棚上段の物品の取扱による汚染リスクが高いです。保管は、シンク周囲をさけ、塵や埃がかからないよう衛生的に管理されてください。



救急カート：

- ・ 喉頭鏡のブレード部分は高水準消毒以上のレベルでの保管が必要です。電池の確認は、ハンドル先端部分をプッシュすることで確認できますのでご検討ください。
- ・ 布製の収納袋の洗濯頻度が不明でした。塵や埃が付着しにくく、洗浄・消毒しやすいプラスチック容器での保管をご検討ください。



救急カート：

- ・ 滅菌製剤を輪ゴムで束ねていました。外包が破損するリスクが高く、滅菌が破たんする可能性があります。輪ゴムの使用を控えるようご検討ください。
- ・ 複数の患者に使用するサージカルテープと衛生材料の消毒綿が同じ容器に収納されていました。分けて保管することをお勧めします。
- ・ 注射薬が最下段に蓋がない状態で保管されていました。埃が貯留しやすく衛生的ではないため、塵や埃が付着しないよう蓋付きケースに収納するか、引き出しの収納をご検討ください。
- ・ 薬品のしきりが紙製でした。汚染した場合、清掃できないためプラスチック製のものがお勧めです。



浴槽の清掃・乾燥が十分に行き届いていました。
シャワーチェアは、カビが発生しやすいため、洗浄・乾燥を毎回行い、
汚染が著明なものや劣化したものは更新してください。
長靴がチェアの上に設置されていました。床面はあらゆる微生物が付
着していますので患者が座るチェア上での保管は避けることが望まし
いです。



**オムツ交換用カートが汚物室に保管されていました。
患者のベッドサイドで使用する衛生材料が設置されているカートは、
汚染管理区域の汚物室での保管により汚染される可能性があります。
使用済みオムツや廃棄物以外の清潔物品が設置してあるカートは、
使用毎に清掃し、一般清潔区域で保管をされてください。**



**清潔リネン室と汚染リネン室が隣同士の部屋で別れていました。
どちらも床に直置きしているものが見られました。
床は、あらゆる微生物が付着しており、物品を汚染させるリスクが
非常に高いです。床に置かず棚などへの収納をご検討ください。**



**多くのコメントをさせていただきましたが
コメント内容を参考に、現場の皆様が出来る
ところから検討し、改善出来れば幸いです。**